

【北海道労働金庫 健康経営宣言】

北海道労働金庫は、全ての役職員が健康でいきいきと働くことの出来る職場づくりの実現に向けて、以下を宣言します。

●経営理念に掲げる「働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」として、その社会的役割を果たすため、職員が心身ともに健康で安心して働き続けることが出来る職場づくりを目指します。

●職員が心身ともに健康で安心して働き続けることができる職場づくりに向け、具体的な施策を積極的に推進します。

●全ての役職員ならびにその家族は、ヘルスリテラシーの向上と健康な心身づくりを自律的に実践します。

健康経営最高責任者 杉山 元

【戦略マップ 2026年度版】

健康投資

健康経営施策
5つの基本項目

健康管理態勢

健康診断・
事後措置

過重労働対策

メンタルヘルス対策

受動喫煙対策

保健衛生委員会
による検証・協議

PepUpアプリ登録
ユーザーの増加 ※注

定期健診の
確実な実施

ヘルスリテラシー向上
を目的とした健康教室

時間外労働時間の
改善

ストレスチェックの実施・
分析

禁煙支援施策の実施

各職場への
衛生推進者の配置

健康経営アンケートによ
る満足度調査の実施

保健師面談の実施

生活習慣向上キャン
ペーンの実施

年休取得促進

メンタルヘルスに関する
研修実施

※注：PepUp・・・自身の「健康年齢」や医療費の情報を確認・管理できる健康ポータルサイト

健康投資効果

健康投資施策の取組状況に関する指標（KPI）

従業員等の意識変容・行動変容に
関する指標

健康関連の最終的な目標指標
（KGI）目標年 2029年度

保健衛生委員会
【目標】毎月1回開催

PepUp登録率の向上
【目標】100%

定期健診・二次検診受診率
【目標】100%

「健康教室」受講率
【目標】100%

時間外労働時間の削減
【目標】前年比減継続

ストレスチェック受検率
【目標】97%以上

メンタルヘルス研修
【目標】年1回以上開催

敷地内前面禁煙
【目標】継続実施

オンライン禁煙プログラム
【目標】期間中10名以上の参加

各職場への衛生推進者配置
【目標】100%

健康経営の取組に対する満足度の向上
【目標】4.0pt以上

保健指導面談実施
【目標】100%

「生活習慣向上キャンペーン」参加率
【目標】60%以上

年休取得日数
【目標】前年度比同等・増加

高ストレス者比率
【目標】10%以下

職員喫煙率の低減
【目標】15%未満

健康増進態勢の
強化

健康意識向上
と行動促進

疾病の重症化予防
・早期発見

生活習慣の改善

健康障害の防止

メンタル不全の
未然防止

受動喫煙の防止

禁煙支援

健康文化の醸成

アブゼンティーイズム
1.6%以下

プレゼンティーイズム
15.0%以下

ワークエンゲージメント
2.6Pt以上

健康経営の目標

北海道労働金庫のサステナビリティ・企業価値の向上

すべての役職員が心身ともに健康で安心して
働き続けることが出来る職場づくりの実現

役職員のヘルスリテラシー向上に伴う健康増進による
組織力の強化

健康関連の最終的な目標指標に対する実績値の公表

	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
アブゼンティーイズム	1.9%	1.6%	1.6%	3.3%
プレゼンティーイズム	-	18.9%	19.7%	21.3%
ワークエンゲージメント	2.5点	2.5点	2.5点	2.5点

※測定方法および測定人数について【2025年度】
・アブゼンティーイズム・・・1か月以上の欠勤・休職者が全体の労働者に占める割合
　　＜対象727名、測定人数727名：測定率100%＞
・プレゼンティーイズム・・・職員アンケートにおいて、SPQ（Single-Item Presenteeism Question 東大1項目版）を実施
　　＜対象713名、測定人数702名：回答率98.5%＞
・ワークエンゲージメント・・・新職業性ストレス簡易調査票（短縮80項目版）で測定
　　＜対象736名、測定人数697名：回答率94.7%＞

職員の健康増進に向けた重点領域

◆メンタルヘルス不全による休職

◆職員の疾病の早期発見と生活習慣病予防

◆時間外労働時間の適正な管理

健康経営に関する各種取組みの実施状況および職員の意識

- ・保健衛生委員会・・・労働組合役員も委員会構成員として出席のもと毎月1回開催し、超勤実態や有給休暇取得状況・労災発生状況等各種実態について報告・議論を重ねている。
- ・健康教室・・・「働く女性の健康関連課題」をテーマに全職員を対象とした健康教室を年1回実施。女性の健康関連課題について動画視聴により理解を深める（2025年度参加率91.2%）。
- ・「運動習慣キャンペーン」・・・職員のヘルスリテラシー向上と健康な心身づくりを目的に、役職員の「運動習慣の定着」を促進するキャンペーンを実施（2025年度参加人数231名 参加率30.7%）。
- ・「食生活改善キャンペーン」・・・職員のヘルスリテラシー向上と健康な心身づくりを目的に、役職員の「食生活の改善」を促進するキャンペーンを実施（2025年度参加人数391名 参加率52.0%）。
- ・定期健康診断受診率・・・2025年度100%（定期健康診断後の二次健診対象者受診率100%）。
- ・ハイリスク者への施策・・・65歳以上の全従業員に対し定期健康診断とは別に保健師がフォローアップを実施。
- ・ストレスチェック受検率・・・2025年度94.7%（回答者697人）。
- ・職員のヘルスリテラシーの状況・・・この1年の健康経営の取組みを通して自身のヘルスリテラシーは向上したか（2025年度：向上した・・・47.2% 変わらない・・・52.6% 下がった・・・0.3%）。

各種指標の経年変化について

項 目	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	備考
保健衛生委員会開催回数	12回	12回	12回	12回	
衛生推進者資格取得人数	－	33名	41名	47名	2024年度より全営業店に有資格者1名以上配置
定期健診受診率（二次検査対象者の割合）	100%(39.7%)	100%（39.1%）	100%（38.7%）	100%（37.2%）	
定期健診後の二次検査受診率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
保健師面談率※	－%	26.8%	51.0%	65.8%	※二次検査対象者に対する面談実施率
月平均時間外労働時間【所定時間対比】	9:52時間	9:11時間	10:18時間	11:03時間	当庫勤務時間（7h20m）との対比にて算出 毎週1回「ノー残業デー」の継続実施
平均年次有給休暇取得日数	14.8日	16.2日	15.4日	15.7日	
平均勤続年数	12年11ヶ月	13年4ヶ月	13年7ヶ月	14年5ヶ月	
ストレスチェック受検率	96.8%	95.1%	91.8%	94.7%	新職業性ストレス簡易調査票（短縮80項目版）で集計
高ストレス者比率	10.9%	11.1%	9.0%	11.6%	
喫煙率	19.2%	18.1%	17.4%	18.2%	2024年度より敷地内全面禁煙実施
禁煙イベント参加率（満足度）	－	－	－	39.1%（3.9pt）	2025年度から実施（満足度は5.0満点）
運動習慣定着イベント参加率（満足度）	－	21.4%	15.6%	30.7%（3.8pt）	2023年度から実施（満足度は2025年度から集計／5.0満点）
食生活習慣向上イベント参加率（満足度）	－	－	7.5%	52.0%（3.7pt）	2024年度から実施（満足度は2025年度から集計／5.0満点）
健康教室受講率	95.4%	91.4%	88.2%	91.2%	「働く女性の健康関連課題」をテーマに全職員を対象とした健康教室を年1回実施。
アブセンTEEイズム	1.9%	1.6%	1.9%	3.3%	仕事を休業している状態（全体の職員に占める1か月以上の欠勤・休職者の割合を算出）
プレゼンTEEイズム	－	18.9%	19.7%	21.3%	健康の問題を抱えつつも仕事をしている状態（「SPQ 東大 1 項目版」にて測定）
ワークエンゲージメント	2.5点	2.5点	2.5点	2.5点	仕事に向けられる従業員の活力（ストレスチェック「新職業性ストレス簡易調査票短縮 80 項目版」にて測定）
労働災害発生件数	7	10	13	12	労働災害発生状況や職場巡視を通じて危険源を特定し、リスクを評価。冬季は凍結路面での転倒災害が多い傾向を踏まえ、注意喚起を継続している。
うち、業務災害	2	5	6	3	
うち、通勤災害	5	5	7	9	